



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.2)

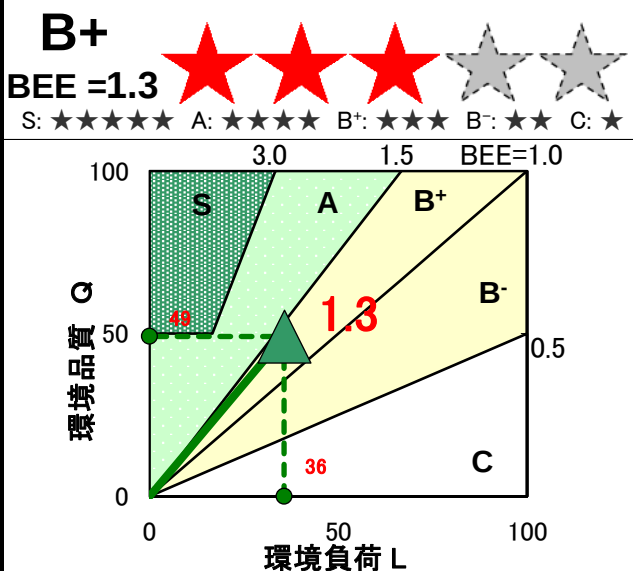
1-1 建物概要

建物名称	東淡路住宅3号館建設工事	
建設地	東淀川区東淡路3丁目	
建築用途	共同住宅	
建築主	大阪市長	
設計者	都市整備局住宅部建設課長	
敷地面積	4,653.89	m ²
建築面積	1,322.78	m ²
延床面積	10,125.15	m ²
構造/階数	RC造	/ 地上13階
完了年(予定)	2027年1月	

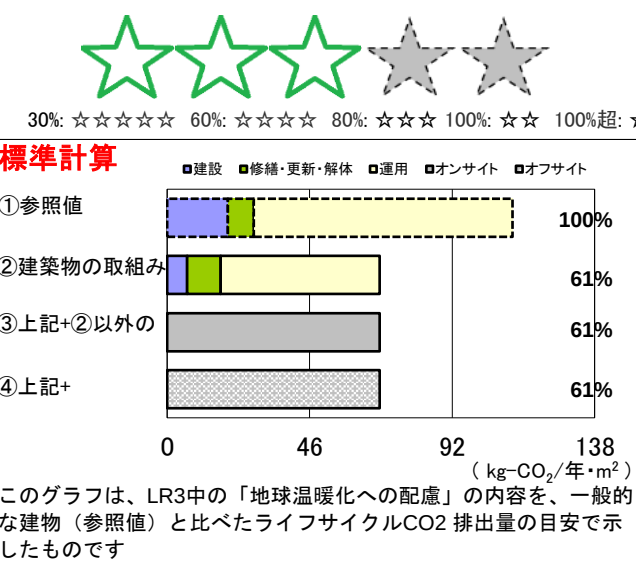
1-2 外観



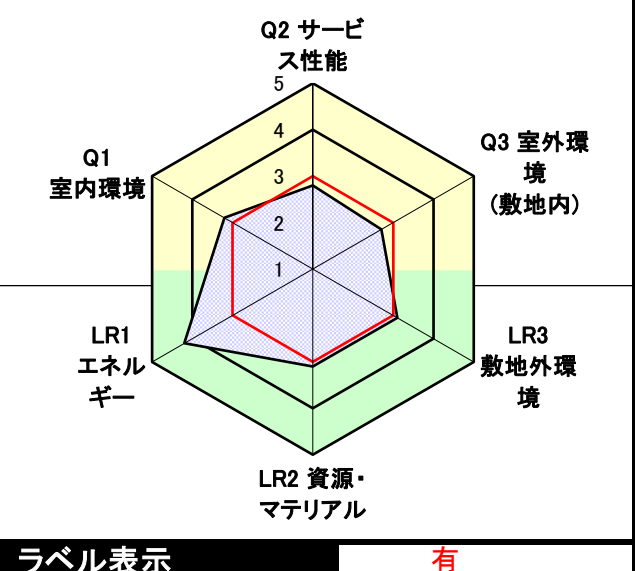
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

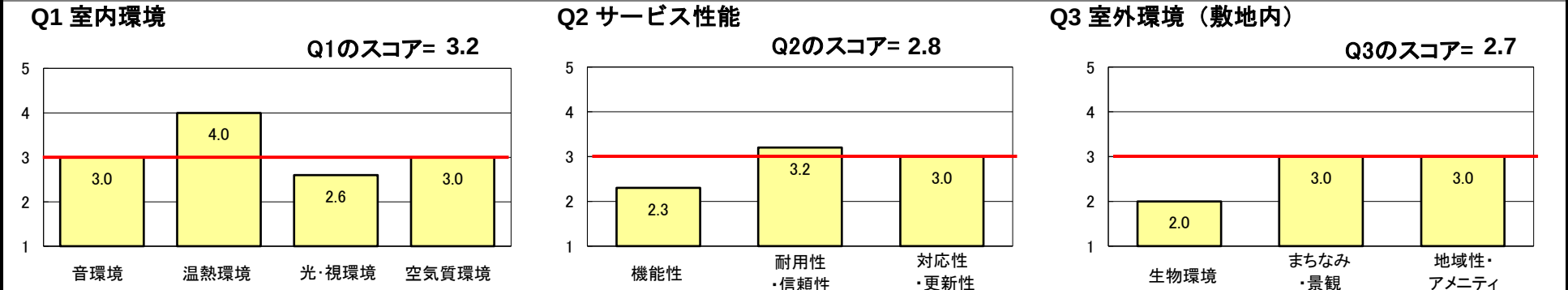


2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

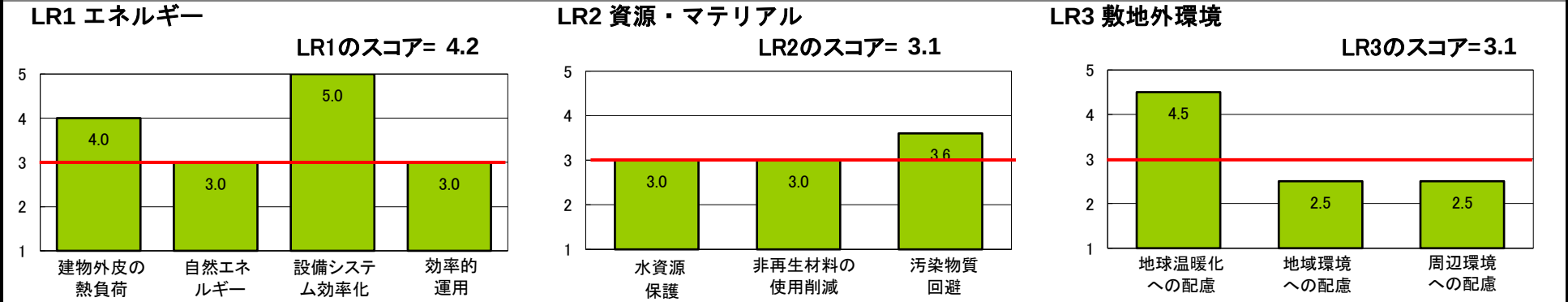


2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質



LR 環境負荷低減性



3 設計上の配慮事項

総合 立地は内陸部であり、周辺も同様に市営住宅が数多く立ち並んでいる住宅地である。主要道路に面してプレイロット等を配置しており、南側道路沿いも敷地内歩道を整備して、周辺の通行の安全確保に努めている。 住棟周囲は緑地を豊富に配置しており、建物も特に環境及び維持管理に配慮している。		その他 特になし
Q1 室内環境 ・日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」等級4相当 ・屋光率2.0%以上確保	Q2 サービス性能 ・バリアフリー新法の移動円滑化基準（最低レベル）を満たしている ・住居部の天井高さ2.5m以上確保 ・維持管理に配慮した設計への取組の該当項目数が標準（取組数3） ・日本住宅性能表示基準 3-1劣化対策等級3相当 ・主要な用途の給排水配管2種以上をB以上使用、Eは不使用 ・階高2,900mmを確保	Q3 室外環境（敷地内） 特になし
LR1 エネルギー ・日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当 ・一次エネルギー消費性能BEI=0.78確保	LR2 資源・マテリアル ・構造耐力上主要な部分にリサイクル資材（高炉セメント）を使用 ・躯体と仕上材が容易に分別可能な計画 ・化学物質排出把握管理促進法対象物質を含有しない建材を4種以上使用	LR3 敷地外環境 ・ライフサイクルCO ₂ 排出率（概算値）61% ・広告物照明を行っていない等取組の評価ポイントが3

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.3

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	4.5 ライフサイクルCO2排出率(概算値)61%
配慮事項	ライフサイクルCO2排出率(概算値)61%	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	2.0
配慮事項	特になし	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	4.0 日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」等級4相当
配慮事項	日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」等級4相当	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	5.0 一次エネルギー消費性能BEI=0.78
配慮事項	一次エネルギー消費性能BEI=0.78	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）
（基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

外皮性能	住宅部分（品確法等級） 等級4 (相当)	非住宅部分[BPI][BPIm] -
	建物全体[BEI][BEIm] 0.78	住宅部分[BEI] 0.78
一次エネルギー消費量		非住宅部分[BEI][BEIm] -